



ここが聞きたい

一般質問



1. 江上 隆行 P7

- ①本市の行政評価の取組みについて問う
- ②本市財政の現況と将来展望について問う
- ③本市の地方創生の取組みについて問う

2. 横山 良雄 P7

- ①JR鞍手踏切の安全性と交通緩和について
- ②西郷川の治水対策について
- ③ICTの活用について

3. 榎本 博 P8

- ①世界文化遺産の取組みについて
- ②空き家対策について
- ③防災の取組みについて

4. 蒲生 守 P8

- ①消防学校跡地を含む用地の利用について
- ②生活道路へ車の進入が増加している点について

5. 永島 誠也 P9

- ①世界文化遺産について

6. 中村 清隆 P9

- ①障がい者福祉について
- ②スポーツ施設の環境整備及び施策について

7. 西野 正行 P10

- ①安心・安全のまちづくりについて
- ②都市計画について

8. 吉水 喜美子 P10

- ①上西郷幼稚園跡地について
- ②「福津ふるさと副読本」について

9. 永山 麗子 P11

- ①ご当地プレート導入の考えは
- ②防災について

10. 井上 聡 P11

- ①消防学校跡地の土地活用の考えは
- ②津屋崎地域の活性化と世界文化遺産、景観条例などに伴う制限の周知は
- ③市有地の活用の進捗状況は

11. 米山 信 P12

- ①郷づくり事業について
- ②安全・安心のまちづくりについて

12. 豆田 優子 P12

- ①市民の安心安全のために
- ②文化を享受するために
- ③元気な毎日を送るために

13. 永島 直行 P13

- ①世界文化遺産「新原・奴山古墳群」について
- ②宮司団地内、市有地法面の管理について
- ③勝浦公民館の建替えについて
- ④牟田ため池の調査について

14. 戸田 進一 P13

- ①小中学校教職員の過密勤務解消を
- ②豪雨対策について
- ③国民健康保険制度の広域化について

15. 大久保 三喜男 P14

- ①旧割烹旅館魚正廃屋ビルの対応について
- ②新町国有林の低木(雑木)伐採による被害対策について

一般質問の内容をインターネット動画で見ることができます。検索方法は、裏表紙をご覧ください。公開は、各定例会後の4年間です。



福津市古墳キャラクター
ふんちゃん



江上 隆行

厳しいと述べる 市財政状況の実態は

経費抑制などを迫られる 観点からそう述べた

問 市長は「福津市まちづくり指針」の中で、厳しい財政状況と述べている。果たしてどのように厳しい状況なのか。その実態を明らかにすると共に、厳しいと述べる財政状況を踏まえて、今後どのような財政運営に努めていくのか、その具体的方針を問う。

答 財政制度審議会が地方の歳出見直しに向け、地方財政計画と地方の決算間で徹底した見える化を推進している。また全国自治体の基金残高総額が21兆円であり、各団体の基金内容・残高増加要因を分析し、地方財政計画への確に反映すべきという見解を示している。



人口と店舗増で市税全体の動きは

一方、総務省は、来年度予算の概算要求で、全国自治体に配分する交付税を本年度より減額する方針である。

また、景気回復で自治体の税収は伸びると想定しており、財政資金の効率的配分を含め、自治体の財源不足を補う交付税は、ある程度減額してもすむとの判断を示している。

この国の動向や税制改正の行方など要求の前提には、不確定な要素が多い中、本市においては事業の執行状況と効果を的確に分析・検証していく必要があり、行政経費の抑制、業務改善を推進していく必要に迫られている観点から、厳しい財政状況であると述べた。



横山 良雄

JR鞍手踏切の 安全対策は万全か

再検討し、周辺の交通 対策を早急に考える

問 駅東開発や西福岡での住宅開発に伴い、市内幹線道路も工事中である。JR鞍手踏切内を車両等の縦列横断や線路沿いを自転者や人が交錯する交通状況は、重大事故が予測される。停止線や安全標識などの対策は考えられないか。

答 鞍手踏切付近は県事業（平成30年度未迄）の道路整備が進んでおり、JRとの協議により工事完了まで車両の通行が可能である。道路管理者である県と提案を含め協議し、安全対策に努める。また、アンダーパスの開通（平成30年3月予定）に合わせ、通学路も学校と協議し児童生徒の安全を確保する。



鞍手踏切に停止線と事故注意標識を

▼西郷川の不測の大洪水に備えを

問 昭和28年の西日本大洪水の際に宗像地区では、4日間で500ミリを超える雨量となり、西郷川の氾濫による未曾有の大災害になった。近年、時間降雨量の増大による大洪水は後を絶たない。不測の事態に対して備えはしているか。

答 洪水による災害発生が予測されたら、避難勧告など発令し、防災行政無線や緊急エリアメールなどで周知し早めの避難につなげる。

問 本市防災マップ浸水区域は県防災の想定区域と違うのはなぜか。

答 当時の経緯は承知してない。



榎本 博

再利用できる 空き家の活用は

策定中の都市計画マ スタープランで考えたい

問 団地では空き家が増えており、侵入して危険なことも起きる可能性がある。対策は。

答 古い団地では1宅地に1戸を建替えるには広すぎるということもあるのですが、都市計画マスタープランで団地の再生を考えていきたい。

問 宗像市では不動産業者などと連携して定住化（空き家対策）に取り組んでいる。福津市では。

答 福津市では空き家バンクの提携業者へ情報を提供し、売買をしている。また設計士や不動産業者などからなる任意団体の「空き家活



保存・有効活用が望まれる古民家

用応援団」で移住相談からリフォームまで手掛けられている。

問 再利用できる価値がある古民家などの数は把握されているのか。

答 いま現在把握はしていない。

問 他自治体で古民家を再生して宿泊施設として活用し、定住化に向けた取り組みをおこなっている。世界遺産登録が決まった今、宿泊できる施設が必要では。

答 空き家活用の新発想で空き家対策も取り組んでいる。いろんな先進自治体の例も参考にしながら、今後重要施策として進めていかなければならないと思っています。



蒲生 守

海岸道路計画を 目指しては

望みを持って進めて いく、提言には賛同

問 生活道路は、30 km以内で車がゆつくり通るべきところであるが、50 kmも60 kmも出している。本当に生活道路と呼べるのか。このことで1番被害を受けるのは、子どもたちやお年寄りではないかと思うが、通学路の点検は行われているのか。

答 自治会あるいは学校を通じて要望が出ており、その中で点検はやっている。

問 建設課では、具体的に計画している箇所があるか。

答 浜田橋花見線、四角通堂線、大



通勤時、700台が通る浜田橋花見線

和町松原線の3路線を計画。

問 浜田橋花見線の近隣からは、今回陳情書がでている。内容には「スピードの超過、騒音によって、地域住民の生命と生活を脅かす事態となつていきます。」とある。市はどのような対応をとるのか。

答 路面標示によって、交通安全対策をする予定。

問 サンピア福岡跡地から海岸線を通って、福岡市まで行く都市計画道路を計画しては。

答 10年、20年、30年先のビジョンかもしれないが、今の提言には賛同する。



永島 誠也

登録後の世界遺産について

世界遺産登録を市内外に多く伝える

問 ① 決定後の動きと維持管理に係る費用負担（国、県からの補助）。② PR活動は。③ 来訪者への対応は。④ 国・県との折衝の管轄は世界遺産登録推進室がするのか。⑤ 展望所に新しい施設を造る考えはあるか。⑥ 景観について。⑦ 福津市内にある観光資源と世界遺産をどう結びつけるのか。⑧ 商工会、観光協会との連携は。

答 ① 資産の公有化において予算範囲の制約がある。国80%、県8%の補助が出る。古墳調査、史跡整備については、国50%県15%の補助が出る。保存活用協議会の割合負担は現在未定。草刈清掃等の維持



世界遺産をアピールしよう

持管理は補助対象外、国県の補助において恒久的な約束は難しいと思う。② 今後は福津市内の観光資源と結びつけるPRが必要。③ 来訪者には観光ボランティアが対応している。④ 世界遺産に関する部署は10月1日より登録推進室を廃止し教育委員会に文化財課を設置10名体制にする。⑤ 本年度本設トイレ設置、あずま屋の建築を考えている。⑥ 景観アドバイザーをおいている。⑦ 世界遺産のある市、福津を満喫されるような企画を計画している。⑧ 福津・宗像の大型商業施設での世界遺産登録記念イベントを開催し、世界遺産と地元特産品のPRに努めている。



中村 清隆

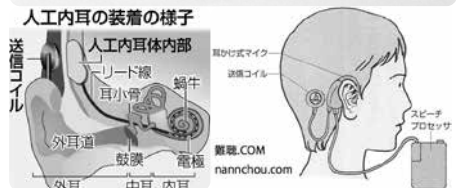
日常生活用具に人工内耳の追加を

追加する方向で今検討をしている

問 障がい者福祉サービスにおいて日常生活用具の品目の中で、他市で助成を受けられて本市で受けられないものがあるか。

答 福岡県下では、筑後市で人工内耳の外部装置とその電池交換等。八女市と久留米市では、電池交換を給付の対象としている。

問 難聴のハンディーがある人にとって、欠かすことのできない人工内耳は、高額で維持するのに費用が負担になる。紛失に関しては、助産保険でも、適用外のものもある。言葉を習得する時期などは、助成の対象にするべきでは。



高額でも必要不可欠な人工内耳

答 現状の日常生活用具では、紛失や故障に対しては、適応外なので給付対象とすることは難しい。

▼スポーツ施設の環境整備は

問 両体育センターに空調設備を。

答 費用負担とか快適なスポーツ、運動の推進という観点も含めながら、総合的に判断したい。

問 社会保障費抑制や親が子どもに習わせたい習い事ランキング5年連続一位の水泳。公設プールの必要性は。

答 市民生活にいい影響を与えていることは、十分認識している。



西野 正行

津屋崎地区の空きビルの対策は

何らかの対策は必要であらうかと考えている

問 津屋崎地域においては空きビルがあり、特に中央に位置する通りにある。入口も壊れ、防犯面において周囲の住民から不安の声が上がっており陳情や署名の動きもある。市のこれからの対応対策を伺う。

答 市としては、民間所有の建物であり、あくまでもお願いという立場での言及しかできないが、今後とも警察と連携して所有者には連絡していきたい。ただ放置しておくだけではこの地域にとって不安は全く解消されないと思うので、何らかの対策は必要であらうかと考えている。



津屋崎地区にある空きビル

問 この建物は所有者が不明と聞いている。市に対しての税は納めているのか。

答 現在、滞納物件であり固定資産税が納入されていないので市が差し押さえている。

問 市は公売といって売る権利があると聞いているが、購入者がいなかったら住民にとって安心安全のために市が購入したらどうか。

答 執行部としても住民の気持ちを察するところであり、前向きな対応方針というのを早急に検討したいと思っている。



吉水 喜美子

上西郷幼稚園跡地の活用は

上西郷地域郷づくり推進協議会の拠点を整備

問 平成28年9月議会で、神興幼稚園と統合した後の上西郷幼稚園跡地について質問をした。その後、1年が経過しているが検討は進んでいるのか進捗状況を伺う。

答 4月下旬に上西郷地域郷づくり推進協議会に、市の拠点整備に関する方針を文書で示した。その後、7月下旬に上西郷地域郷づくり推進協議会では、総会・新役員会等を経て市の方針に基本的に合意をされた。具体的な改修内容(要望事項等)の協議を2回ほど実施し、改修工事が決定し、この9月定例会で設計委託料を計上した。具体的には現運動場は駐車場に、玄



上西郷郷づくり拠点予定地(幼稚園跡地)

関・園舎等は大幅改修工事を行う。なお完成は来年9月を予定。

▼「福津ふるさと副読本」について

問 「福津ふるさと副読本」作成の進捗状況を伺う。

答 本年度から検討委員会を立ち上げ、市内小中学校の代表教諭、教育委員会の指導主事、福岡教育大学の先生を交えて、副読本を作成している。カリキュラム、指導事例集、資料などを含めて、小学3年生〜中学3年生までを対象に、道徳、総合的な時間、あるいは歴史、社会科の時間等を活用しながら授業を展開したい。また、本年度中には各学校に配布したい。



永山 麗子

市のPRにご当地 プレートの導入を

調査研究が必要、
今しばらくお時間を

問 世界文化遺産登録された本市は市の魅力発信のチャンスでもある。ご当地プレートの導入をしては。キャラクターは、PRのために、ポストカードやストラップ作成などへの展開も考えては。

答 少し時間をいただきたい。

▼防災に関して

問 カメラアステージのかまどベンチの表示と活用。自主防災組織への紹介と材料の提供を。

答 紹介はする。出来る限りのことはしたい。



表示されていない「かまどベンチ」

問 防災士資格試験受講の補助を消防団男性だけでなく、一般にも門戸を広げ、防災リーダーの育成を。

答 防災に強い、防災意識を持った市民がいる街づくりを目指したい。

問 屋外の防災行政無線が聞こえず不安の声を聞く。防災ラジオ貸与で安心感を与えては。

答 検討はするが早急には厳しい。

問 災害対応型カップ式の自動販売機が出来た。防災協定しては。

答 自動販売機更新の際確認する。

消防学校跡地の 土地活用の考えは

県の検討結果が出るのを
待っている



井上 聡

問 福岡県消防学校の跡地は3万7208㎡（1万1255坪）あり、福津市のまとまった数少ない公共用地である。学校は築43年が経過し、新たな訓練に対応する施設がなく、老朽化や塩害を理由に嘉麻市へ本年4月に移転した。県は、跡地については県による利用を検討。利用が見込まれない場合は、公用・公共目的の利用を優先的に考え、地元市町村の利用の協議を進めていきたいとのこと。今後の市の考えを伺う。

答 現在は県の検討結果が出るのを待っているところである。今後、県の検討結果次第ではあるが、学



消防学校跡地活用の検討を

校法人等も含まれるかも知れない。企業いわゆる民間からの正式な立地表明もなされるかもしれない。市としては、隣接する北原の下水道処理場跡地等も含め、住宅が建ち並ぶことがないような考えのもとで、情報をとり注視しながら進めていきたいと考えている。

問 市内部で検討会を立ち上げるといふ前市長の答弁であったが、その点についてはどうなったのか。

答 検討会議については、今般、市では経営会議というのを持っており、この問題も近々の経営会議の中で議題として挙がっているのので、経営会議を中心として検討は進めていきたいと思っている。



米山 信

市民公益活動を どのように考えるか

郷づくりの活動

そのものだと考えている

問 共働と住民自治・市民公益活動を連携しなければならぬと考えるが、市の条例には市民公益活動の規定はない。この事について見解は。

答 郷づくり推進協議会や自治会の活動が、社会一般の利益にかなう市民公益活動として市の条例に規定がないことで、市民に分かりにくいと考える。まちづくり基本条例の精緻作業の際、明文化も視野に入れて取り組みたい。

問 他の自治体は、条例に市民公益・政治的活動、営利を伴う経済活動の禁止、公序良俗に反する活動を



市民公益活動の規定は

行う際、宗教的・政治的活動や営利を目的とする経済活動、公序良俗に反する活動等の禁止規定を必ず定めている。市の条例改正にあたって、この規定を盛り込む考えは。

答 これらの規定が市条例の規定にないことで郷づくり事業が市民に分かりづらくなっていると認識する。その事も考え協議しながら、条例の改正作業に入りたい。

問 他の自治体は条例制定に伴い、法的拘束力の強い交付金交付規則を定めているが、市の考えは。

答 条例の精緻作業の中で、文書法制部局とも協議したい。



豆田 優子

健康寿命延伸の 工夫は

他市町村を調査研究して 取り組む方向

問 健康寿命の延伸は、最重要課題だと思う。健康に過ごすために何が必要かという点、やはり「きょういく」今日行くところがある、「きょうよう」今日用事があるという点だ。「きょういく」「きょうよう」の提案として古賀市主催のおでかけハンドブックを紹介したい。古賀市主催のものから地域のイベントまで掲載されている。参加するとポイントシールがもらえ、シールをためると抽選で景品がもらえる。平成28年度は参加者は、4千名。平成29年度予算は、商品も含めて85万7千円となっている。福津市でも、取り上げられないか。

答 健康づくりは自分で取り組むことでしか結果が出ないので、取り組んでいただきたいと思う。紹介いただいたような取組みについては、健康づくりに関心の低い方も取り組みやすいし、楽しみながら参加できるような事業であると考え。やり方によっては事務量が膨大で予算がかかるということもあるので、他市町村の調査研究をしているところであり、取り組む方向で検討している。

▼カメラステージの運営について

問 ボランティアも含めた運営協議会の設置は出来ないか。

答 指定管理者と話し合いたい。



古賀市の外出支援事業

議会だより
ふくつ



永島 直行

宮司団地内の市有 地法面を公園化に

新たな法面等の整備に
ついては困難

問 昭和46年に開発された宮司団地内に旧津屋崎町に帰属した法面がある。開発後46年間法面に紫陽花を植え住民の方が管理されていたが高齢となり管理ができなくなつた。ここを公園化にと自治会から要望があつたと聞く。市の考えは。

答 市が下草刈りを年2回行っている。植栽も含めて公園的な管理の要望と思うが、法面の管理については、委託先のシルバー人材センターやその他市内の方の作業がかなり危険な状況での作業となり極力簡易な管理をしていきたい。新たな植栽管理は困難と考えている。



宮司団地内市有地法面に植えられた紫陽花

▼牟田ため池の調査について

問 このため池は昭和47年から52年までの6年間約7千万円で町営事業で改修された。約50年になり法面ブロック張りの下の土羽が崩壊している状況である。早急に調査をし県営事業で改修をお願いしたい。

答 平成30年度に牟田ため池を含め市内9ヶ所のため池の耐震診断を予定している。診断の結果、対策が必要となれば法面の崩壊もあわせて県営事業として改修をお願いしたいと考えている。水面より下の状況が確認されていない。今年最終落水後に確認することで水利組合と調整を進めていきたい。



戸田 進一

小中学校教職員の 過密勤務解消を

勤務実態把握のため
システム導入を検討中

問 教職員の過密勤務解消は、教職員自身の健康を守るとともに、学校での子どもたちの健やかな成長を保障する土台だ。学校校舎の警備会社管理記録より、市内8校の4月～6月、3ヶ月間の実態調査をした。一日平均14時間から16時間も学校で仕事をしている過密勤務状態であること、月に関係なく日常化していること、過労死ラインの勤務が潜んでいる危険があることが明らかになった。教育委員会は実態把握しているか。

答 ご指摘の過密勤務状態が日常化していると思う。しかし、個人の勤務時間の把握はできていない。



中学校の職員室

問 過密勤務解消の早急な対策が必要だ。そのためには、まず、タイムカード導入などで一人ひとりの勤務実態を把握すべき。

答 出退勤管理システムの導入は、現在、見積もりをとり検討中。なるべく早く対応できるようにする。また、業務日誌に出退勤時間を書きこみ把握する方法は、すぐできることなので詰めていく。

問 この問題解決の根本は、人的体制の充実や少人数学級編成等で教員負担軽減をすることだ。福岡県への要請等強めるべきと考えるが。

答 国・県教委への要請も継続する。



大久保 三喜男

旧旅館廃墟ビル 早急な対応を

所有者と連絡とれず
対応に苦慮している

問 旧旅館跡、5階建てビルは反社会的団体が購入し廃墟状態で放置、迷惑している。地域の環境、防犯、景観、観光、安全・安心に有害だ。早急な対応を求める。

①市はどのような対応したのか。

②市が購入するとすればどの位の金額になるのか。

③「特定空き家」に指定、市で解体し所有者に費用負担をさせる。

④市の多額負担で反社会的団体の尻ぬぐいはしてはならない。

答 ①所有者は滞納があり差し押さえている。公売にかけているが買手もない状況である。

②土地と解体費用併せて4000



廃墟ビル所有者負担で解体を

～5000万円位かかると考えられる。

③「特定空き家」の指定については現場を見てみたい。

④現在、購入目的、活用方針がないが、検討課題だ。

▼勝浦・松原防風林、地元協議を

問 松くい虫防除対策として、防風保安林内に道路を作り、そのため低木（雑木）が伐採され、強風で飛砂が吹き込み農作物に被害がおよんでいる。施策前の協議や竹柵の計画的設置をするべきだ。

答 防風林管理等、事前に地元と協議をする（4者協議）。竹柵設置は計画的に実施する。

議会だよりを市政だよりと合冊の取組み QRコードを一般質問記事へ掲載し 議会録画と連携

大阪府八尾市は、当初タブロイド版で議会だよりを作成していたが、地域から配布物の削減要望があり、市政だよりと合冊となった。滋賀県甲賀市では、紙面の限られた字数では伝えられないことから（特に一般質問）議会が運営する中継動画に誘引するため紙面にQRコードを印刷。両市の取組みを視察した。

（議会広報調査特別委員会所掌事務調査）

合冊と編集方法（八尾市）

年間5回（4回の定例会と臨時議会）議会広報を発行。部数は10万5500部。編集は議会事務局職員が行い、議会だより編集委員会で委員が確認をし印刷製本。配布は印刷業者より自治振興委員、班長を経て全世帯に。また、障がい者へ「点字と音声の市議会だより」を発行。点字本は、75部。音声CDは、51枚作製（マザーテープを含む）。音声は、議会ホームページでも聞ける。

配布方法と活用（甲賀市）

年間4回、3万3400部を発行。配布は、新聞折り込みで行い、新聞を取っていない世帯へは希望者のみ郵送している。配布費用は、印刷コストの1.2倍となっている。QRコードの印刷

に関わるコストの負担は特にない。また、視覚障がい者のために音声CDを作成（配布枚数は50枚）している。

研修を終えて

合冊は配布にあたりコンパクトになる点や市政だよりと比較ができる利点がある。QRコードの導入は費用負担もなく導入可能なことから検討を進めたい。



八尾市の研修風景